



ケアハウス入居者の方々より 原稿執筆募集中！

令和4年7月号より、たんぽぽ通信のコーナーの一つとして「王喜の郷の輪」と題し、王喜の郷に関わる様々な方々からの記事を掲載しております。

テーマはご自身の今までのご経験、皆さんへの問いかけ、最近あった嬉しいことなど何でも構いません。

書いてみたい！と思われた方は事務所へ声をおかけください。

原稿量：600字程度
締切り：毎月25日

職員からも声をかけさせていただきますのでぜひご検討ください。

応募者複数の場合はその月の掲載にならないことがあります。ご了承ください。



ケアハウス大規模修繕について

ケアハウス王喜の郷は1996(平成8)年に設立し、今年28年目を迎えます。

適宜メンテナンスをしながら運営しており、2011(平成23)年には一回目の大規模修繕を行いました。

この度の大規模修繕では主に下記の修繕を予定しております。

- ・ケアハウス食堂 床一部の貼替え工事
- ・ケアハウス外壁 下地補修工事、塗装工事、防水工事
- ・非常灯取替工事
- ・受水槽新規取替工事

工事は今年6月までに終了予定です。

安全第一で工事を進めてまいります。皆様にはご不便をおかけしております。

いつもご協力いただきありがとうございます。



昭和レトロコンサート

作曲家 吉田正「異国の丘から都会派メロデー」まで

国民栄誉賞受賞の大作作曲家、吉田正のヒット曲の数々を！

「異国の丘」「有楽町で逢いましょう」「いつでも夢を」他

日時 三月二七日(シニアハウス王喜の郷)十三時三〇分〜十五時

♪懐かしいあの時、あの時の思い出が鮮やかに

よみがえるコンサートをお楽しみください！

【会費】 三〇〇円

【お問い合わせ】山根(ミント)



たんぽぽ通信

3月1日発行 205号
ケアハウス王喜の郷 令和6年3月号

Webページ <http://www.ryokujyukai.jp>

三月は日本人にとっては様々な思いが錯綜する月です。皆様にも身近な方々の吉報が多く寄せられているのではないのでしょうか。裏面、事業所の便りのケアハウスで、チンさんが四年余の調理の仕事を終わりベトナムに帰る報告をしていました。丁度コロナが発生した2019年12月に20歳前半の3人で入職しました。3年間の実習期間が終わりましたが、チンさんはそれから1年少し残ってくれました。新しい実習生が昨年3月に入職し早1年になり日本食の調理にも慣れてきました。先輩のチンさんがいることでどんなに心強かったことでしょう。

大きな目をくるくるさせて明るく話す彼女がいなくなるのは淋しい気持ちでいっぱいです。コロナ禍と重なりいろいろなことに制限がありましたが皆様からたくさん声をかけて頂いたり助けて頂いたり良い思い出をたくさん持ってベトナムでの新しい生活に帰ります。厨房は後輩の2人が引き継いで料理の腕を上げてきています。日本語も1年間の生活で理解が進んできました。

一生懸命に知らないこと、できないことに挑み、それを自分の血や肉にしていく若い人たちと身近で生活できることは何にも代えがたい日々だと感謝しています。

施設長 末谷千秋

〈お知らせ〉

3月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
31					1	2
3 桃の節句	4	5 啓蟄	6	7	8	9
10	11	12	13	14 ゆめタウン行き	15	16
17 彼岸入り	18	19	20 春分の日	21	22	23
24	25	26	27	28 ゆめタウン行き	29 ビューティーヘルパー	30

*誕生日：お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。

**ビューティーヘルパー：出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

***イズミ行き：午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に2回)

****レトロコンサート：第4水曜日に隣のシニアハウスにて開催・午後1時半〜3時・参加費300円

☆昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

事業所だより

<p style="text-align: center;">ケアハウス王喜の郷</p> <p>2月29日をもちまして、退職となりました。 今まで大変お世話になりました。</p> <p>日本に来て、良いことも苦しいこともありましたが本当に楽しかったです。たくさんの人の支えがあったので4年間、頑張ってきました。</p> <p>4年間は長い間ではありませんが、皆さんにはご指導、ご協力をいただき心より感謝しております。皆さんのおかげで成長することができました。</p> <p>初めて外国で生活するのは本当に大変でしたがいつも助けてくれてありがとうございました。</p> <p>お世話になった皆さんのご健康を心よりお祈りしております。</p>  <p style="text-align: right;">調理員 チャン カイン チン</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷デイサービスセンター</p> <p>デイサービスセンターに勤務して、あっという間に1年が経とうとしています。</p> <p>王喜の郷の様々な行事に参加させて頂きました。2ヶ月に1度行われた誕生会では、尺八演奏や歌を披露させて頂き、参加者の皆様が大変喜ばれた事や、節分の豆まきでは子供の鬼に扮した私に向かって元気よく豆まきを行われた事が印象深く残っています。</p> <p>無事に鬼退治が出来、厄払いがしっかり出来、今年もこれで安心ですね。</p> <p>3月にはデイ担当最後の誕生会があります、全職員で皆様に楽しんで頂けるよう、企画中です。</p> <p>今年の1月には新入職員が新たに加わり、先輩職員や後輩職員と切磋琢磨しながら、利用者の皆様により良いサービスが出来ます様、頑張っています。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 清水 尋子</p>	<p style="text-align: center;">グループホーム王喜の郷ライム</p> <p>日差しが春の訪れを告げる頃となりました。</p> <p>3月3日はひな祭りですね。</p> <p>ライムでは入居者の方と一緒に内裏様とお雛様を作成中です。</p> <p>お内裏様とお雛様に色を塗った最後に、表情を書き込んで頂いたのですが、個性あふれる表情豊かな作品が完成しました。</p> <p>まだまだ昼夜の寒暖差も大きく、昼は暖かくても朝夕は肌寒く体調を崩しやすい季節です。</p> <p>体調管理に十分気を付け、笑顔で過ごして頂けるように職員一同サポートしていきたいと思っております。</p>  <p style="text-align: right;">介護職員 田中 智恵</p>	<p style="text-align: center;">グループホーム王喜の郷</p> <p>2月は節分を祝うために3日に豆まきをしました。鬼に豆を思い切り投げ方や鬼を怖がる方も見られました。今年は鬼が親子で来て、利用者も楽しく豆まきを行い、たいへん盛り上がりました。</p> <p>入居者されている方に感想を聞くと、「楽しかったよ。」「またやりたいね。」などの声が多く、笑顔もたくさん見られました。</p> <p>利用者も職員も楽しむことができ、これからも一緒に行事やレクリエーションへの参加を考えて行きたいと思っております。</p>  <p style="text-align: right;">介護職員 中原 泰崇</p>
<p style="text-align: center;">王喜の郷居宅介護支援センター</p> <p>令和6年2月26日下関医療・介護ネットワーク 合同研修会に参加しました。「お薬や体調が気になった時のお助けシート」についての講義を受け、その後医師、薬剤師、ケアマネジャーでグループワークを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬が余っている。 ・薬が変わって怒りっぽくなった。 ・処方された薬を紛失してしまう。等困りごとがあった時には、ケアマネジャーが、お助けシートを活用して薬剤師、医師と情報を共有し相談、連携し、困りごとに対応していきましょう。 <p>薬剤師さんより複数の病院を受診されている方はかかりつけ薬局を決めると薬の一包化ができるので薬が飲みやすくなります。何か困ったことがあればご相談下さい。</p> <p style="text-align: right;">介護支援専門員 石川 ゆかり</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか</p> <p>もう少し三寒四温があり、気温や気圧の変化によって体調を崩しやすい時期でもあります。</p> <p>ヘルパーが訪問した時に居室内の温度や衣服の調整、水分補給の声かけなどもさせていただいています。暖房機器を使用すると、部屋内の湿度が下がり乾燥してしまいますので、水を入れた洗面器を置いて加湿をしたり、こまめな水分補給をおすすめします。</p> <p>利用者の皆さんが安心して生活出来る環境を提供していくことを職員一同でサポートしてまいります。</p> <p>何か気になることや、ご要望などありましたらお気軽にお声かけ下さい。</p>  <p style="text-align: right;">訪問介護員 白石 真理子</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷</p> <p>夕食の配膳をし、皆さんが召し上がられている中、1人の方だけ箸をつけずにお膳を見ておられたので、どうされたのかなと思っておかけすると「全部美味しそうで、どれから食べようかと迷った」と、とてもいいお返事がかえってきました。</p> <p>その時私は「目で見て」「舌で味わい」「心で楽しむ」という言葉を思い出しました。高齢者にとって脳の刺激の手助けともなり健康維持につながる、食事で得られるものは栄養だけではないことを認識しました。</p> <p>これからも皆さんと関わることで、いろいろなことの再発見が出来たらと思います。</p>  <p style="text-align: right;">介護職員 上杉加代</p>	<p style="text-align: center;">放課後等デイサービス さくら</p> <p>鬼は外、福は内とかけ声を出しながら、今年も元気に節分が終わりました。節分の前には、支援員が絵を用いて節分や鬼について、かけ声や豆まき時のルールを子ども達に説明して取り組みました。デイサービスからやってきた鬼を前に退治する気満々だった子達は、逃げたり、隠れたり怖がっていましたが、無事豆まきを終える事ができました。</p> <p>三月は卒業の時期です。さくらでも小学校、中学校、高校と卒業する子達があります。卒業生は、春休みに入るのが早く、3月の前半から、さくらにやってきます。高校卒業の子達と過ごせる時間もあとわずかとなってきます。卒業の子達がさくらで過ごす時間が楽しかったと言ってくれるように、また身につけた事が今後本人達の役に立ってくれると良いなと思っております。</p> <p style="text-align: right;">さくら支援員 塩谷 一雅</p>